

委員会報告書

No.1

委員会名	一般社団法人 日本ライオンズクラブ アラート全体会議（第1回）
開催日	2020年 11月 27日（火） 14:00 ～ 17:00
開催場所	東天紅上野本店
記録者	
出席者	別紙
次回委員会	日時： 年 月 日（ ） : ~ :
	場所：
〔確認事項を項目ごとに記載してください〕	
(a) 日本ライオンズアラート活動の現在までの取組について	
柿原アドバイザーから資料集P3～P7についてご報告がなされました。	
(b) 社会福祉協議会との協定について	
柿原アドバイザーから資料集P8～P12についてご報告がなされました。	
(c) 2020-2021年度全国アラートフォーラム開催について	
久保田MD332アラート委員より別添資料に基づきご説明がなされました。（開催日2021/2/13）	
登録料 3,000円、懇親会6,000円（料理を5,000円にして余った1,000円で当日の資料の印刷代）	
駅からの往復のバスの運賃に補填する）→入金先は332MD	
収容人数は400名	
(d) 第5会則地域204地区（グアム）コロナウイルス感染抑止支援事業報告	
森川委員長より資料集P13～P21についてご報告がなされました。	
原資は一般社団法人日本ライオンズの繰越金から拠出しています。	
グアムでの物品の検品は204地区のガバナーか地区のスタッフに行ってもらう予定です。	
（減免の関係で受入窓口が州政府になる可能性もあります）	
今後は、社員総会で上程し複合年次大会で決議をとる予定です。	
(e) （一社）日本ライオンズ緊急アラート災害支援運営規則について	
森川委員長より資料集P22～P26についてご報告がなされました。	
アラート委員会の口座から一般社団法人 日本ライオンズの口座に移行する（災害支援金）	
集まったお金の拠出方法を明確にする。	

委員会報告書

No.2

従来のガイドラインが付則として加わります。

MD337 青木班長

21条2項の現場責任者は現地のガバナーですか。

現場責任者はその時の被害状況によって異なってきます。（現地クラブ会長、現地ガバナー）

28条3項の支援受入準備の経費はどこからもらえますか。

社団から拠出します。

MD330 阿久津委員

9、14条の班長、副班長の立ち位置を明確にして下さい。

班長とメンバーの分担が現状明確ではないと思います。（班長の権限がない）

現時点では班長は被災地に入って被災状況を委員会に報告するだけになっています。

MD332 西村班長

3条3項の後方支援を抜いてください。また、義援金を支援金に変更してください。

19条の全国アラートフォーラムですが330～337の前に西東交互にを追加してください。

21条1項の直ちに被災地支援対策本部を設置するの直ちにを明確にして下さい。

具体的に7日以内を目標に訂正いたします。

第9条速やかな実行の前に情報収集など現地の社会福祉協議会とを追加してください

14条の副班長は直ぐに動ける人を任命してください。また任命の方法も検討してください。

付則で対応します。

石永副班長

各準地区では日本アラート委員会の認識が弱くアラート委員会がどんな支援をしてくれるのかが被災地に伝わっていないので現地のアドバイスを大切にしています。また班長の持ち出しが多いので班長に出資金を出してください。

一部修正（付則にて対応）で全会一致にて可決承認

(f) (一社) 日本ライオンズアラート委員会組織構成について

森川委員長より資料集P27～P30についてご報告がなされました。

委員会報告書

No.3

デスカッション

MD333 大高班長

災害物資を持ってきた後から請求書が来るのを何とかして貰いたいです。

MD331 能澤班長

班長の立ち位置が明確でないのが問題だと思います。また、年1のセミナーの目的を明確にした方が良くと思います。また、社会福祉協議会との協定書を活かしてください。

MD332 山下班長

班長の立ち位置が重要だと思います。

MD、準地区に日本ライオンズアラートの表記を一切ありません。

各クラブからアラート委員が選出されていますので日本ライオンズアラート委員会で決まった事を上手く準地区に落として立ち位置を明確にして下さい。

MD336 藤井班長

アラート委員会の資料は全てガバナーに送っています。また複合でアラートチームが立ち上がりました。

石永副班長

立ち位置が一番問題だと思います。MDの委員ですがCABに認識がありません。

MD331 渡辺委員

MD331は複合の委員長、副委員長という立ち位置です。

情報はガバナーに流れています。

337-E 伊藤議長

アラートに関して知識不足を認識しました。また、災害に強い地域なのでアラートに対しての認識が弱いそして、見える化が進んでない様に感じました。

MD333 大高班長

縦と横の繋がりを明確にしていけないので班長の立ち位置が無いのかなと感じました。

今後プロトコール明確にするのが日本ライオンズアラート委員会の使命だと思います。

識名理事長

プロトコールに関しては各MDと相談しながら明確にしていこうと思います。

坂本西日本総括リーダー

プロトコールと委嘱状をきっちりした形でだす事を8複合の議長会で全国共通で決めて頂き被災地でも認識してもらう。

335-Bでは、第1、第2ガバナーの勉強会にアラートを入れていますので是非全国でもやって頂

委員会報告書

No.4

きたい。

総評

班長の立場を明確にして、それを周知していく